

国大協防災・日本再生シンポジウム

放射性物質の 拡散と 大学の人の役割

主催／東北大学大学院理学研究科、国立大学協会

2011.11.13(日) 13:15-17:20 (OPEN 13:00)

TKP仙台カンファレンスセンター3階 ホール3A

お問い合わせ先／

東北大学大学院理学研究科・理学部アウトリーチ支援室

Tel:022-795-6707 (または 6708) Email:outreach@mail.sci.tohoku.ac.jp

震災以降、多くの大学・研究機関の研究者がボランティア精神や学術的動機に基づいて、自発的に放射性物質拡散状況について、測定・解析・予測、および、情報発信（啓蒙活動）をおこなっております。こうした研究者の実践について紹介するとともに、社会へのコミットメントのあり方について、登壇者にそれぞれの意見を述べていただきます。

第1部 講演

大学などの協力による精密土壌汚染マップの作成

谷畑 勇夫（大阪大学核物理研究センター）

被災家畜の包括的線量評価事業

福本 学（東北大学加齢医学研究所）

大気における放射性物質の拡散

岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科）

海洋における放射性物質の拡散

花輪 公雄（東北大学大学院理学研究科）

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

田村 裕和（東北大学大学院理学研究科）

パネリスト 谷畑 勇夫 / 福本 学 / 岩崎 俊樹 / 花輪 公雄

* 定員 125 名 / 入場無料
* 参加申し込みはホームページにて
<http://www.sci.tohoku.ac.jp/outreach/>